

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

平成29年度第2回（第32回）合同会議議事概要

開催日及び場所	平成29年9月28日（木） 中央合同庁舎第8号館8階特別中会議室
委員	委員長 國廣 正 （弁護士） 委員 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明 （横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授） 委員 寺田 麻佑 （国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科准教授） 委員 長岡 美奈 （公認会計士）
議事	○第31回会議審議案件の持越し分に係る審議 ○平成29年度 第1四半期の契約に係る審議 ○その他

○第31回会議審議案件の持越し分に係る審議

【一般競争入札】 最低価格落札方式	(府) 1件 (関心事項) ・低落札案件となった理由、業務の質が保てると判断した理由について確認する。	契約件名：次期総合防災情報システム基本設計業務 契約相手：(株) 日立製作所 契約金額：11,404,800円 契約日：平成29年2月8日 担当部局：内閣府政策統括官（防災担当）
意見・質問		回答
この案件の落札率がなぜ低いのか。		応札金額について契約相手方に聞き取りを行ったところ、競合他社の動向を想定した上で、現行システムの構築・開発実績を持った人員配置を検討し、作業内容の精査などコスト低減、利益相当分の圧縮も行った結果とのことであった。
予定価格をより適正な価格として作成する方法ができないか。		落札価格を予定価格とすることが可能なのか、知見のある方々と相談しながら今後、検討したい。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

○平成29年度 第1四半期の契約に係る審議	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成29年6月30日
対象案件の説明	<p>○対象期間における契約の全体（内閣官房125件・内閣法制局5件・内閣府460件）について事務局から説明</p> <p>○審議案件抽出の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低落札案件について、その理由を確認する。</li> <li>・予定価格算定方法の妥当性を確認する。</li> <li>・最低価格落札方式での契約が妥当であるか確認する。</li> </ul> <p>さらに以下の観点から各案件を絞込み</p>
審議抽出案件	3件
【一般競争入札】 最低価格落札方式	<p>(官房) 1件 (関心事項) ・本業務の目的を踏まえると、総合評価落札方式で行うことが望ましいのではないかと考えるが、最低価格落札方式にて契約を行った理由を確認する。</p> <p>契約件名：「beyond2020プログラム」認証手続き 検討業務 契約相手：(株)オーエムシー 契約金額：1,884,600円 契約日：平成29年4月3日 担当部局：内閣官房副長官補</p>
【一般競争入札】 最低価格落札方式	<p>(官房) 1件 (関心事項) ・予定価格算定方法の妥当性を確認する。</p> <p>契約件名：「明治150年」関連施策推進ロゴマークに関する 商標調査業務等 契約相手：一般財団法人日本特許情報機構 契約金額：108,000円 契約日：平成29年5月31日 担当部局：内閣官房副長官補</p>
【一般競争入札】 最低価格落札方式	<p>(官房) 1件 (関心事項) ・低価格により提供されるネットワーク回線について、セキュリティ上の問題が生じないと判断した理由を確認する。</p> <p>契約件名：政府間端末装置ネットワーク回線の賃貸借等 契約相手：KDDI株式会社 契約金額：2,540,160円 契約日：平成29年4月3日 担当部局：内閣官房国家安全保障局</p>
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし

## 別紙

意見・質問	回答
<b>1 「beyond2020プログラム」認証手続き検討業務</b>	
この事業の内容が、ロゴマークの誤用等の防止ということから弁理士、弁護士なども業務を行っているのか。	企業や自治体が行う文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与しているが、認証は内閣官房が行っている。業者は問い合わせの対応や要件のチェック、WEBサイトの運営等を行っており、弁護士等を使ってチェックをするところは求めている。
事業内容の重大性、困難性と予定価格の設定に若干の違いがあると思う。本来であれば総合評価落札方式のほうが良いのではないのか。	業務内容は、マニュアルに沿って確認等を行い報告をするといった単純な作業。WEBサイトについても既存サイトを運営するといった特別な技術等を要しないものであるため、総合評価方式ではなく、最低価格落札方式とした。
落札額が低いのは仕事が欲しいということだと思うが、この金額では業者は厳しいのではないのか。	今後の積算については、業務実績を検証した上で、ご意見を踏まえ検討させて頂きたい。
<b>2 「明治150年」関連施策推進ロゴマークに関する商標調査業務等</b>	
この案件は非常に低い落札率であるが、予定価格の算定はどのように行ったのか。	過去に同様の調査業務を行った際の積算方法を参考に、予定価格を算定した。今後、同様の調査業務を行う際は、より実態に見合った予定価格を算定するよう努めたい。
今回の落札額は低額なので、これを先例として同様の案件があった際の予定価格の基準にすることがないようにすべき。	本件は落札業者が実績づくりを目的に低額で応札したものと聞いている。この落札額を今後の基準にすることはなく、また、同様の調査業務を行う際は、より実態に見合った予定価格を算定するよう努めたい。
<b>3 政府間端末装置ネットワーク回線の賃貸借等</b>	
この案件は落札率がなぜ低いのか。	落札業者が既存の回線を活用することにより、コストを下げることができたため、低額での応札となった。
政府間の通信回線は、セキュリティの観点から随意契約が望ましいのではないのか。	本件は接続先との関係において一般競争入札による業者選定でも問題ないとされている。また、前年度の調達において、他の業者の応札があり、今年度についても複数者の入札参加が見込まれたことから、一般競争入札を行った。
○その他	
なし	